

短歌

末武 有二 選

秋の陽に鎌振り上げて蠟螂の影映しゆくゆらりゆらりと
安永 守住 孝子
ひい孫と会えたることの嬉しさはこの年一の喜びとなり
惣領 島田 廣子
手を添えて揺れる茶柱息白く願ひ膨らみ頬緩みゆく
馬水 倉本研一郎
茜増す明けの明星消え行きて飛行機雲が十字切り裂く
惣領 甲斐 道夫
公民館落成祝妹と従姉妹舞いたる歌神楽よし
木山 本田 龍子
寒いのは淋しさに似るとふと思ふ今日この頃
朝方辛い 江津 高田美佐子
灰白き真昼の月は空に溶け芒の山に今沈みゆく
木山 赤城 香織
庭隅で秋明菊と露の花競い咲きする晩秋の頃
広崎 日野ヒロ子
落ち葉にも新旧のあり雨上がり木陰歩けば若き葉混じる
惣領 垣野 幸一
落つる葉に亡き夫思い立ち止まり一葉ごとに思い巡らす
広崎 大原 郁
山並みの夕陽まぶしい道に立つ風爽やかに映える芒野
馬水 増田 訓子

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

草花が杖引く足を止めにくりにけり
霜枯れのマスクに凍みる遊歩道
カサコソと枯葉踏む道しずかなり
鍋料理一家揃って笑顔かな
張り替えし障子に映る陽ざしかな
コスモスを登園しぶる孫の手に慣れたのかこの冬旨い発泡酒
発雷の音聴く夜のしじまかな
日曜討論世界の今を語り居り
一句鑑賞
老いらくの恋に火がつく葉鶏頭
江津 高田美佐子
広崎 瀬戸サイ子
古閑 今村 恒心
惣領 野々口トミ子
菊陽 力 幸子
木山 本田 龍子
木山 友田 太公
壺淵 風 来 坊
木山 やぶにらみ
東京 袖山千登世

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠
皆がびつくり五歳児が言ふ「とりあえず」
買物メモあわてて探すオヤジかな
珍しや三人揃ふ七五三
大国のエゴで地球が千鳥足
『お題』 九州場所
意気あがる博多の街の触れ太鼓
熱烈拍手郷土力士の土俵入
ドスコイと爺と孫との益城場所
モノ言が行司泣かせの名勝負
木山 本田 龍子
木山 遠めがね
赤井 酔 粋
広崎 瀬戸サイ子
惣領 野宮 逸吉
木山 鎌田 隆子
広崎 大石 高義
赤井 増岡 伸禧

次回のお題 「宇宙」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財
町文化財保護委員会

令和5年度町文化財企画展

美文字が光るとき
～君の一文字に恋してる～

交流情報センターミナテラスでは、令和元(2019)年度から毎年、町教育委員会が主催する文化財の企画展が開催されています。

この企画展は、年々認知度が上がっており、毎年、企画展の度に常設展示や定期的な展覧会の開催を望む声が寄せられているのとです。

記念すべき5回目の開催となる今回の企画展は「美文字」をテーマとして、文字に焦点をあてた展示構成で、歴史・考古の各分野からえりすぐりの名品を紹介する内容となっております。

普段、私たちが当たり前のように入用している文字は、情報の記録や伝達ばかりではなく、それ自体が美術品として評価されているものも少なくありません。多種多様な文字と向き合うことで、文字